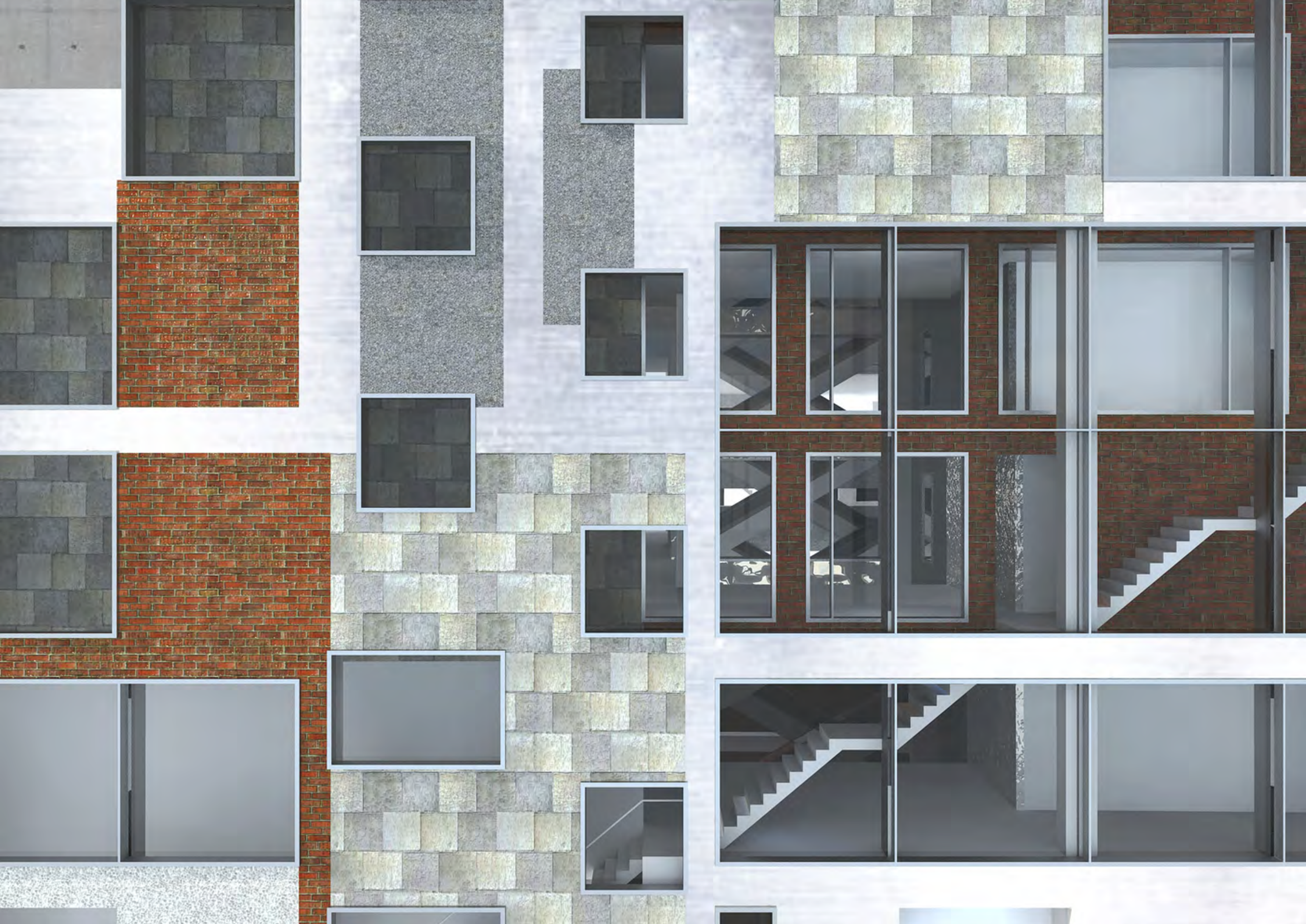
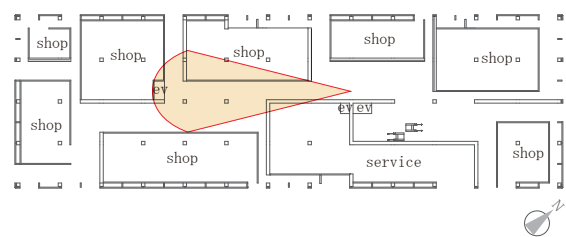
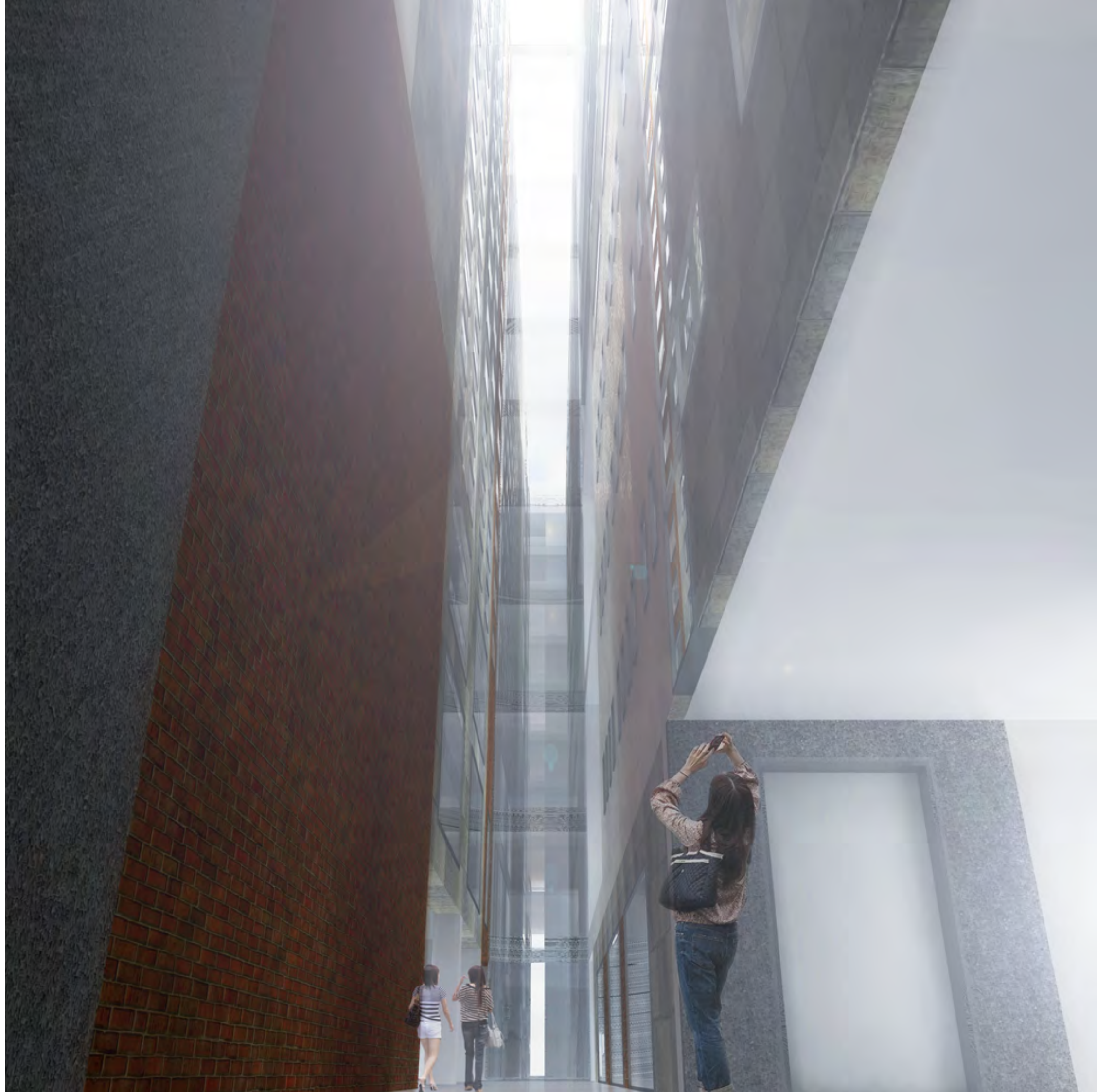
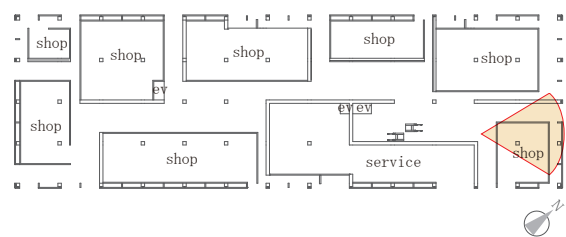






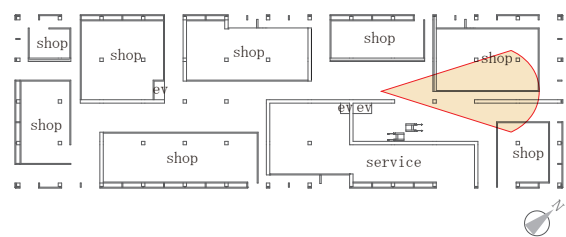
X1 & Y3 STREET_MATERIAL





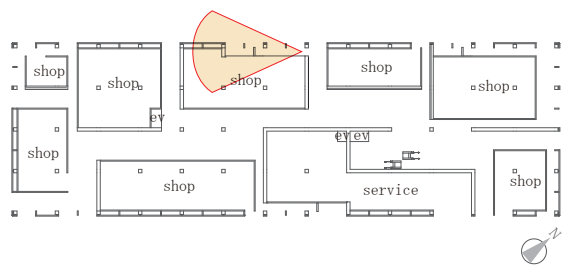
X2 & Y2 & Y3 STREET_MATERIAL





X1 & Y2 & Y3 STREET_MATERIAL





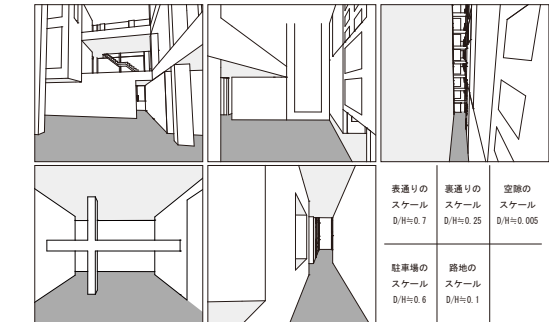
X1 & Y3 STREET_MATERIAL

研究概要 と 提案内容

本研究では現代建築における素材の意匠的意味を研究テーマに設定している。研究の第一段階として、文献調査によって近代以降の建築の素材の扱いを概括し、規格・工業製品の登場によって失われた素材のコンテクストを、改めて再構築することが重要なのではないかと結論付けた。そこで第二段階として東京都銀座を対象に現地調査を行い、街並みを形成している既存建築物の外観立面から素材の混成比を抽出した。現地調査のなかで、銀座のもつ空間スケールを表通り、裏通り、空地、路地、空隙の5つに分類し、それぞれの通りに現れている素材を抽出した。こうした素材と空間スケールをコンテクストとして抽出し、建築のプロジェクトの中で再構成する態度をマテリアル・コンテクスチュアリズムと定義した。

第三段階として、銀座中央通り沿いの一角に、調査によって抽出した素材比とスケール感などを手掛かりにして商業・オフィスの複合施設を設計した。建築を構成する上で、銀座のグリッド状の街並みに沿うように敷地を割り、二種類の壁を立てた。一つは構造を兼ねながら、環境設備のバッファーとして機能するスケルトンの壁。もう一つは店舗側がフレキシブルに変化させられるインフェルの壁。本プロジェクトでは、構造壁を商業施設の内装規定に縛られないオープンスペースとして設計し、素材の再構成を試みた。その店舗以外のオープンスペースは、歩行者天国などで多様に使われる銀座の外部空間を延長するようなかたちで時間貸しのオフィスやシェアスペース、休憩・ギャラリースペースとして設計した。構造壁と内装壁で銀座のD/H比と空間スケールのアウトラインを形成し、研究のなかで析出した素材比を適応させることで壁面の表情を再構成した。素材比を適応する際、たとえば表通りの素材比を適応する箇所では、表通りに建つ既存の建物の立面を主に参照しながら裏通りや路地などの立面を入れ込んでいる。これによって、銀座のもつスケール感・素材感をパラフレイズさせながら銀座の街並みの再構成ー異化作用を生じさせている。

銀座は建物の更新が激しく、その新奇性が一つの魅力を生んでいる場所でもあるが、都市規制の変更によって建築可能な建物の規模も変わろうとしているいま、街並みや空間のスケールなどを継承することは大切ではないだろうか。現代では素材に様々なコーティングが施され、バナキュリズムのような素材のリアリティを求める行為はむしろ新奇性を生じさせる側面も持っている。私は本研究・プロジェクトにおいて、街並みの素材構成に着目することで街並みのコンテクストを継承しつつも新規性をもった、銀座の文脈と商業論理を両立する建築を目指した。

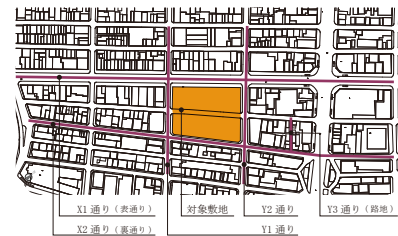


▲ 空間スケールの引用

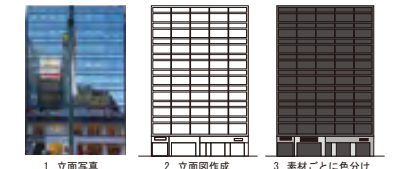
凡例	素材	備考	X1		X2		Y1		Y2		Y3	
			IF	ALL	IF	ALL	IF	ALL	IF	ALL	IF	ALL
	看板、広告	看板、広告、店名ロゴなど	10.1	11.4	6.4	3.5	7.1	3.3	10.5	12.2	6.2	1.6
	ガラス	ガラスに付随する建具やサッシを含む	54.7	47.3	51.7	38.9	47.6	58.3	31.6	42.1	33.1	36.3
	金属	メタルカーテンウォール、鋼材、鉄格子など	8.1	11.0	10.7	17.0	1.6	6.6	22.1	6.9	5.4	30.2
	タイル	各種タイル、レンガなど	3.2	4.8	5.6	5.9	8.5	12.0	18.6	14.9	17.7	5.8
	石材	各種石材	17.0	16.9	12.4	19.5	26.2	14.5	15.5	18.7	1.2	3.2
	セメント系	A.L.C.、コンクリート打ち放し、モルタルなど	4.0	7.1	7.4	10.3	3.6	3.8	0.1	4.0	2.3	15.2
	仕上げ塗装	リシン系吹付など	2.1	0.5	5.7	4.2	0.0	0.0	1.6	1.1	11.0	5.9
	その他	電飾	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
	木質材	集成材なども含んだ各種木材	0.1	0.1	0.2	0.1	5.4	1.3	0.0	0.1	5.4	3.0
	設備	配管や室外機など	0.0	0.7	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2
	植栽	壁面緑化など	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	土	左官、瓦など	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	4.4
	プラスチック	プラスチック類	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			数値は全体に對する混成比（%）									

数値は全体に対する混成比 (%)

▲ 素材混成比



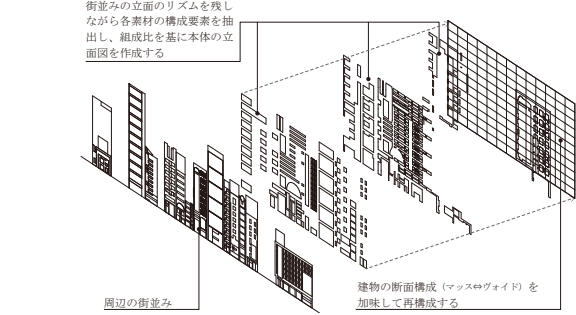
▲ 対象敷地と調査範囲



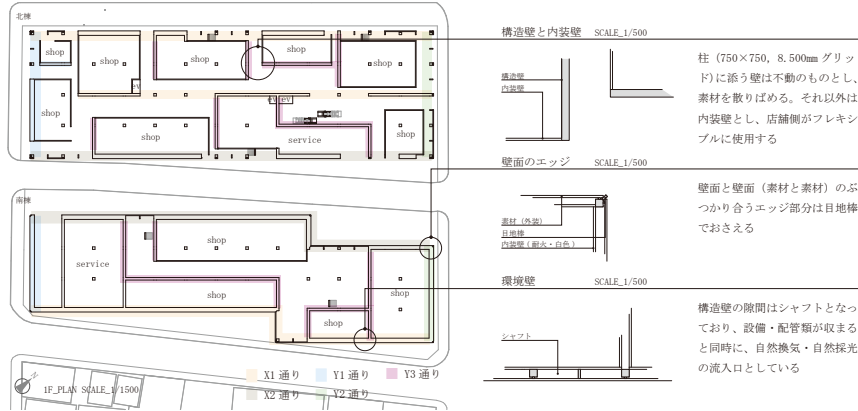
▲ 立面図作成と素材別の色分け



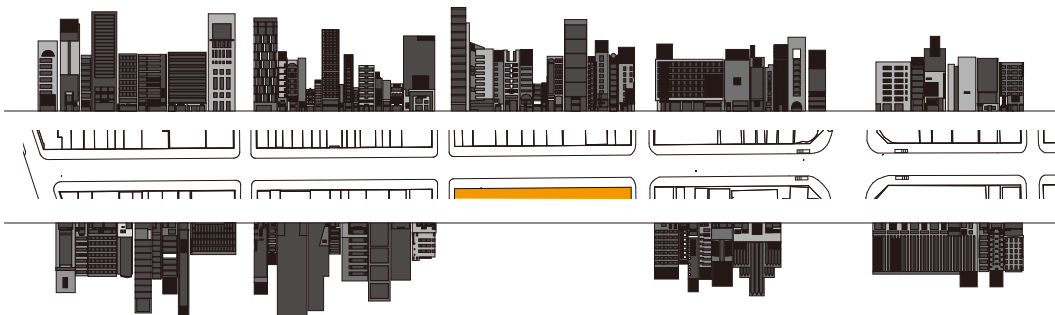
▲ 銀座の壁面スケール



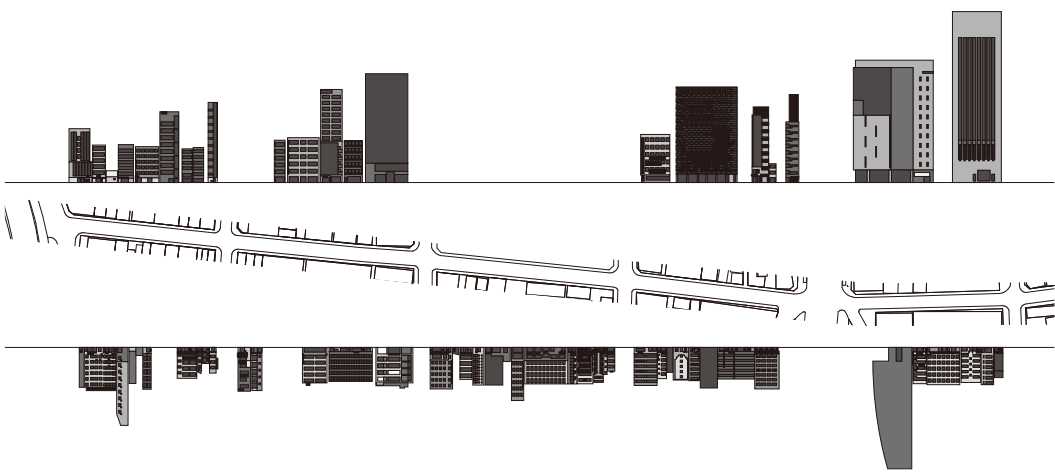
▲ 立面構成ダイアグラム



▲ 素材適用図

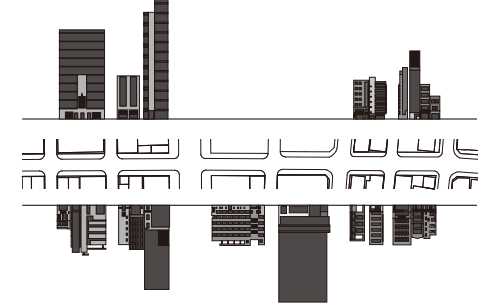


X1 STREET

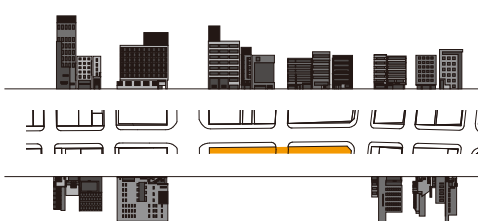


X2 STREET

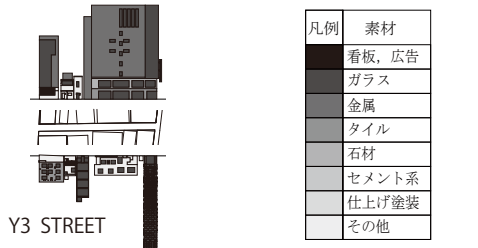
▲ 各街路の連続立面



Y1 STREET

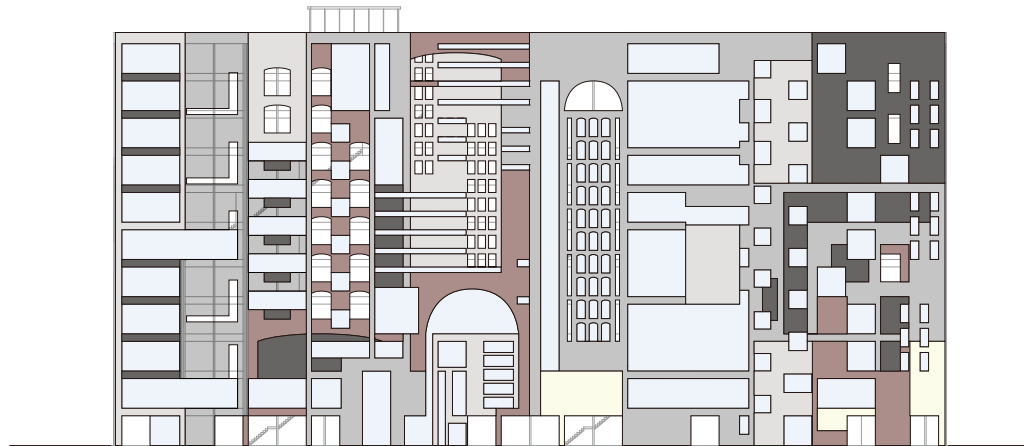


Y2 STREET



Y3 STREET

凡例	素材
	看板、広告
	ガラス
	金属
	タイル
	石材
	セメント系
	仕上げ塗装
	その他



北西立面図

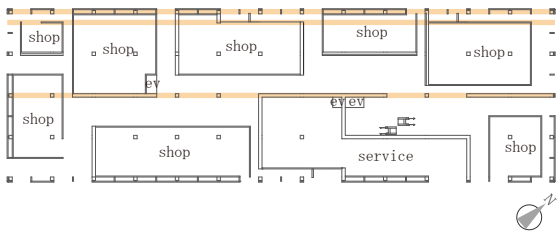
□ ガラス ■ タイル ■ 石材 ■ 金属 □ 塗装、左官 □ コンクリート

▲ 素材の適応と立面図



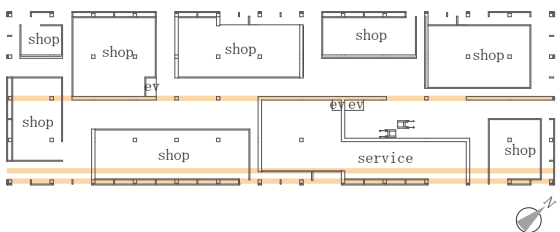
▲ 都市のテクスチャマッピング





看板, 広告	11.4%
ガラス	47.3%
金属	11.0%
タイル	4.8%
石材	16.9%
セメント系	7.1%
仕上げ塗装	0.5%
その他	0.9%

X1 STREET_MATERIAL



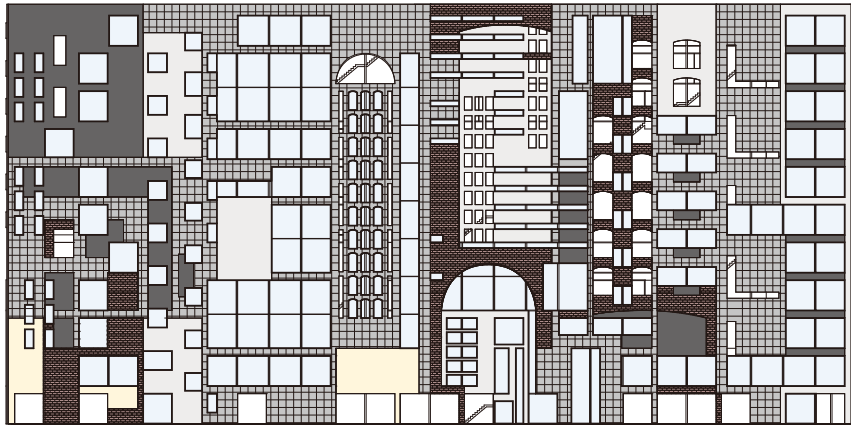
看板, 広告	3.5%
ガラス	38.9%
金属	17.0%
タイル	5.9%
石材	19.5%
セメント系	10.3%
仕上げ塗装	4.2%
その他	0.6%

X2 STREET_MATERIAL

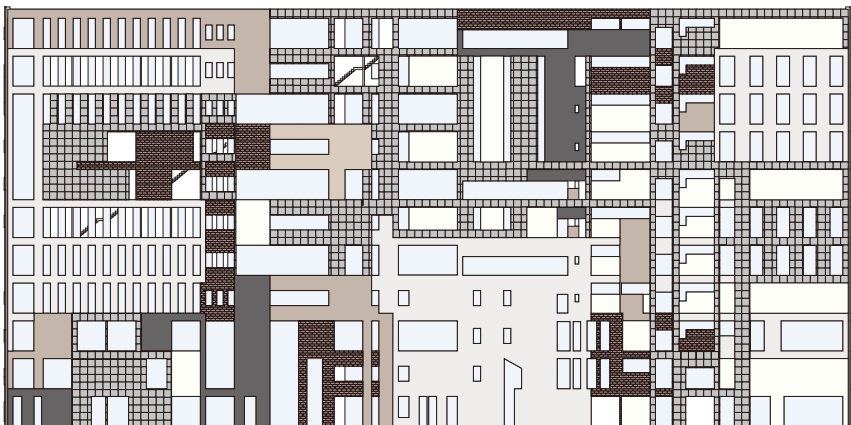


看板, 広告	3.3%	12.2%
ガラス	58.3%	42.1%
金属	6.6%	6.9%
タイル	12.0%	14.9%
石材	14.5%	16.9%
セメント系	3.8%	4.0%
仕上げ塗装	0.0%	1.1%
その他	1.6%	0.1%

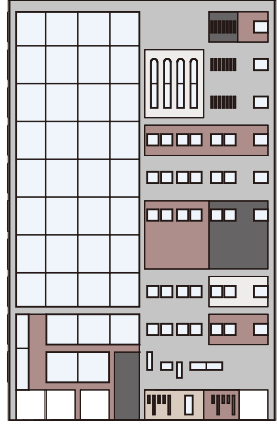
Y1 STREET & Y2 STREET_MATERIAL



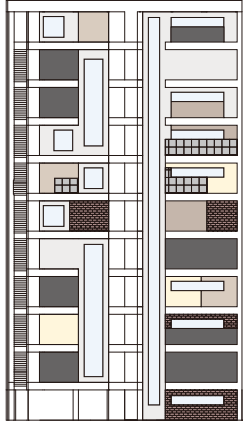
NORTH BUILDING _ NORTH WEST ELEVATION _ 1/500



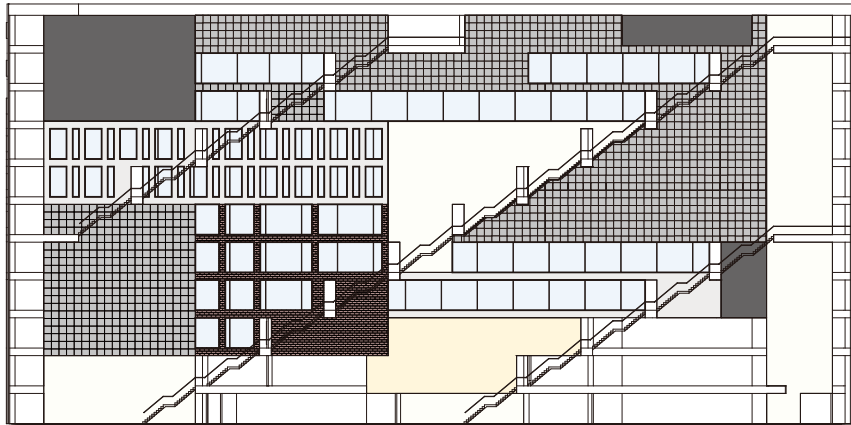
NORTH BUILDING _ SOUTH EAST _ 1/500



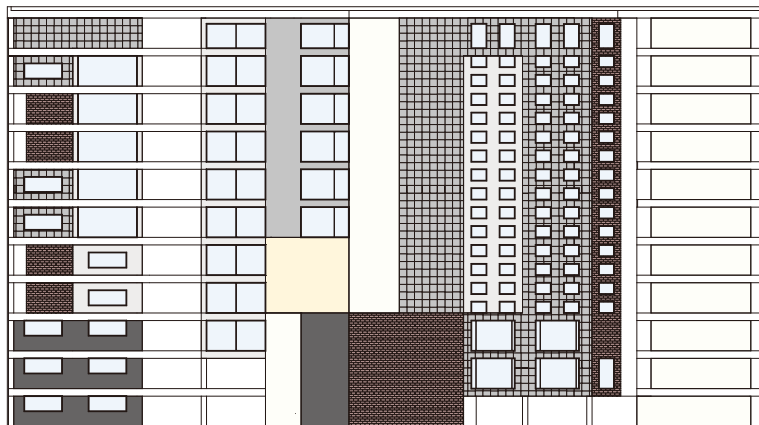
NORTH BUILDING _ SOUTH WEST _ 1/500



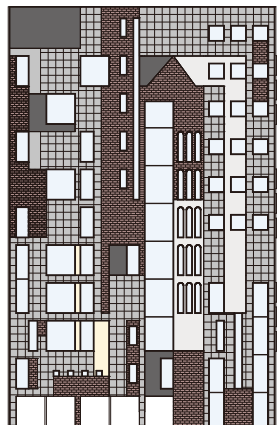
INTERIOR WALL _ 1/500



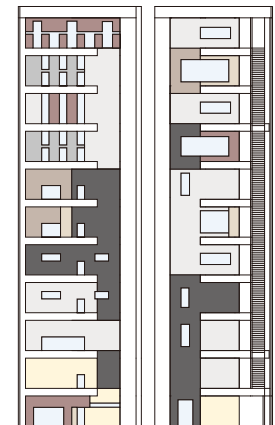
INTERIOR WALL _ 1/500



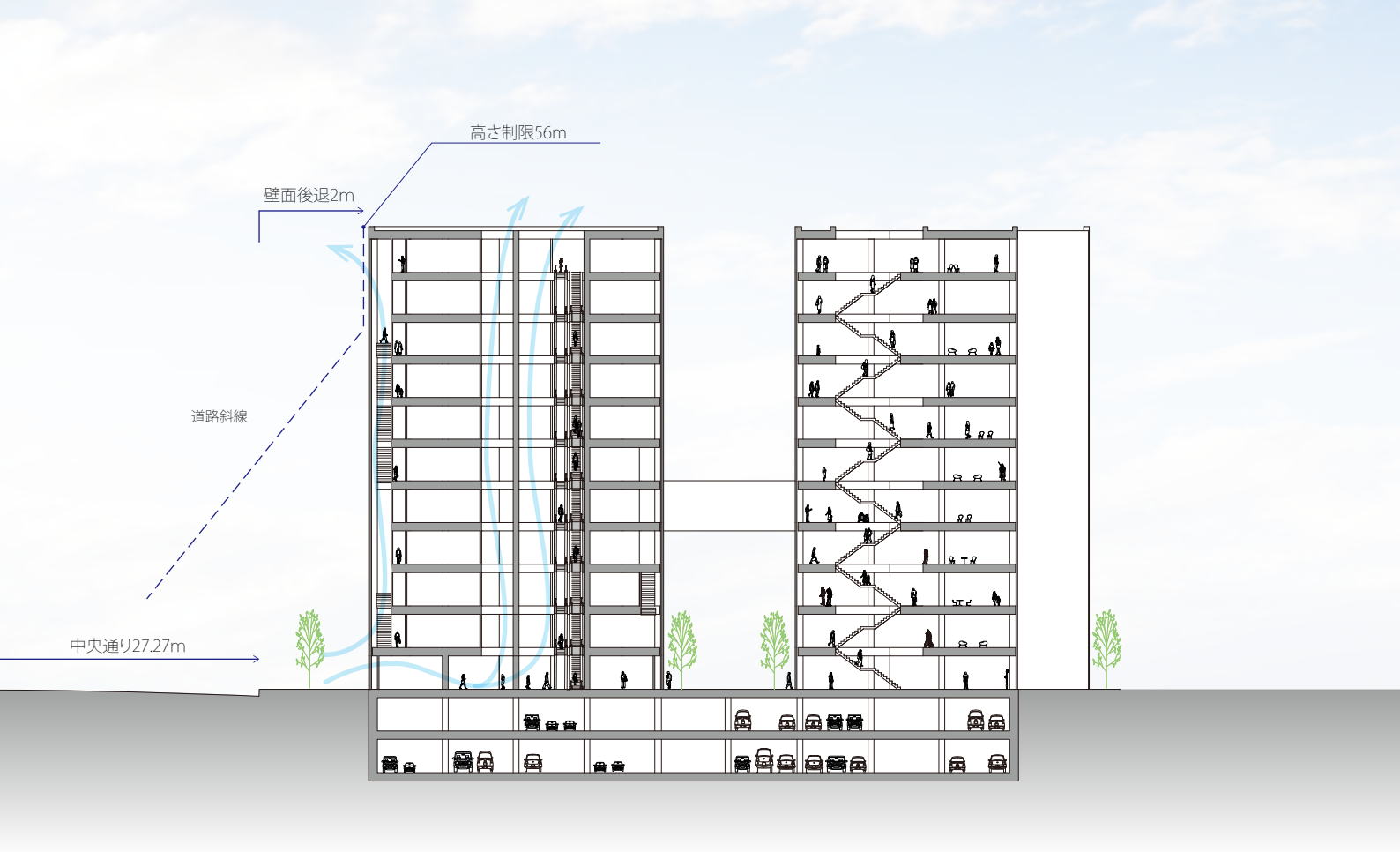
INTERIOR WALL _ 1/500



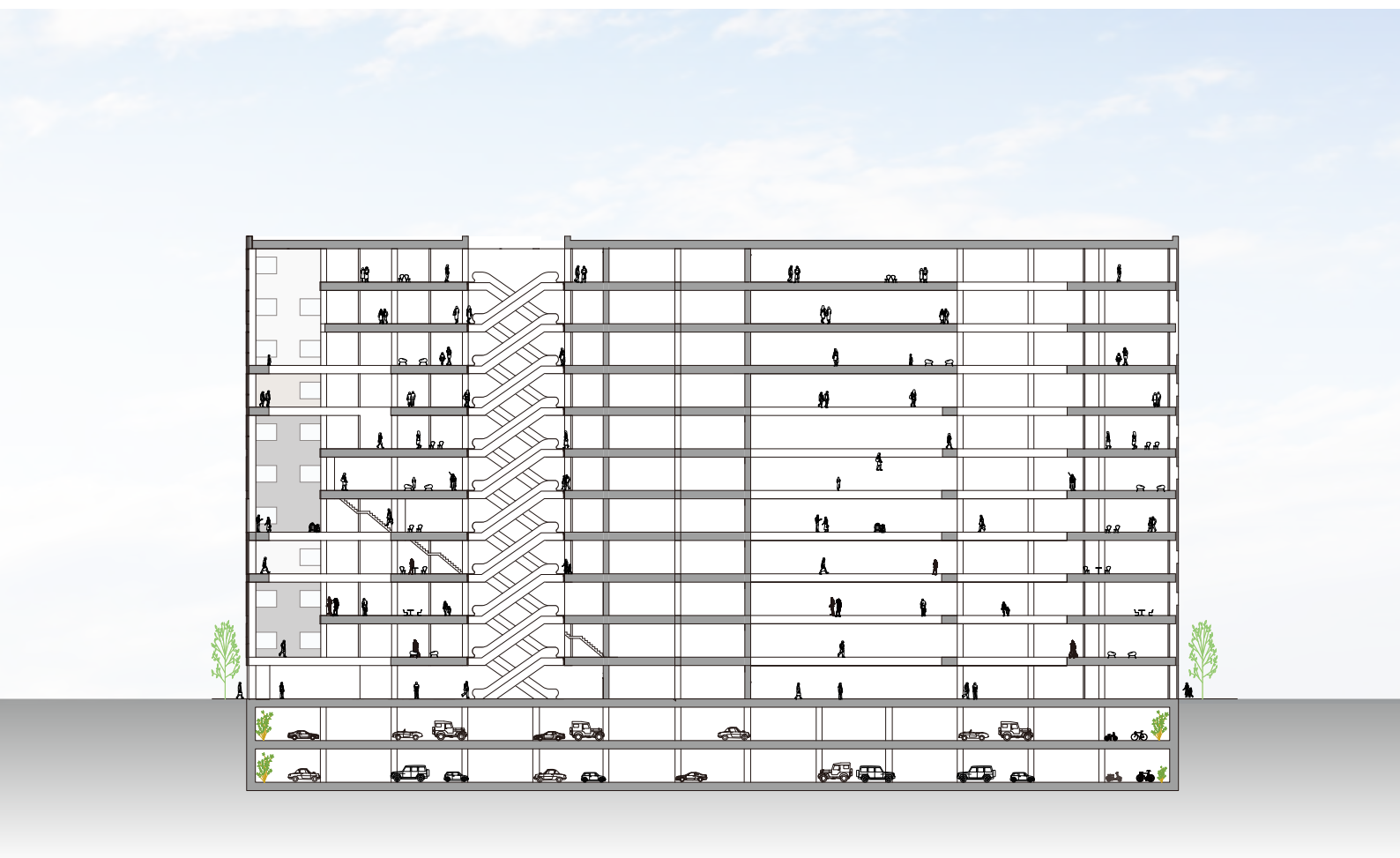
NORTH BUILDING _ NORTH EAST ELEVATION _ 1/500



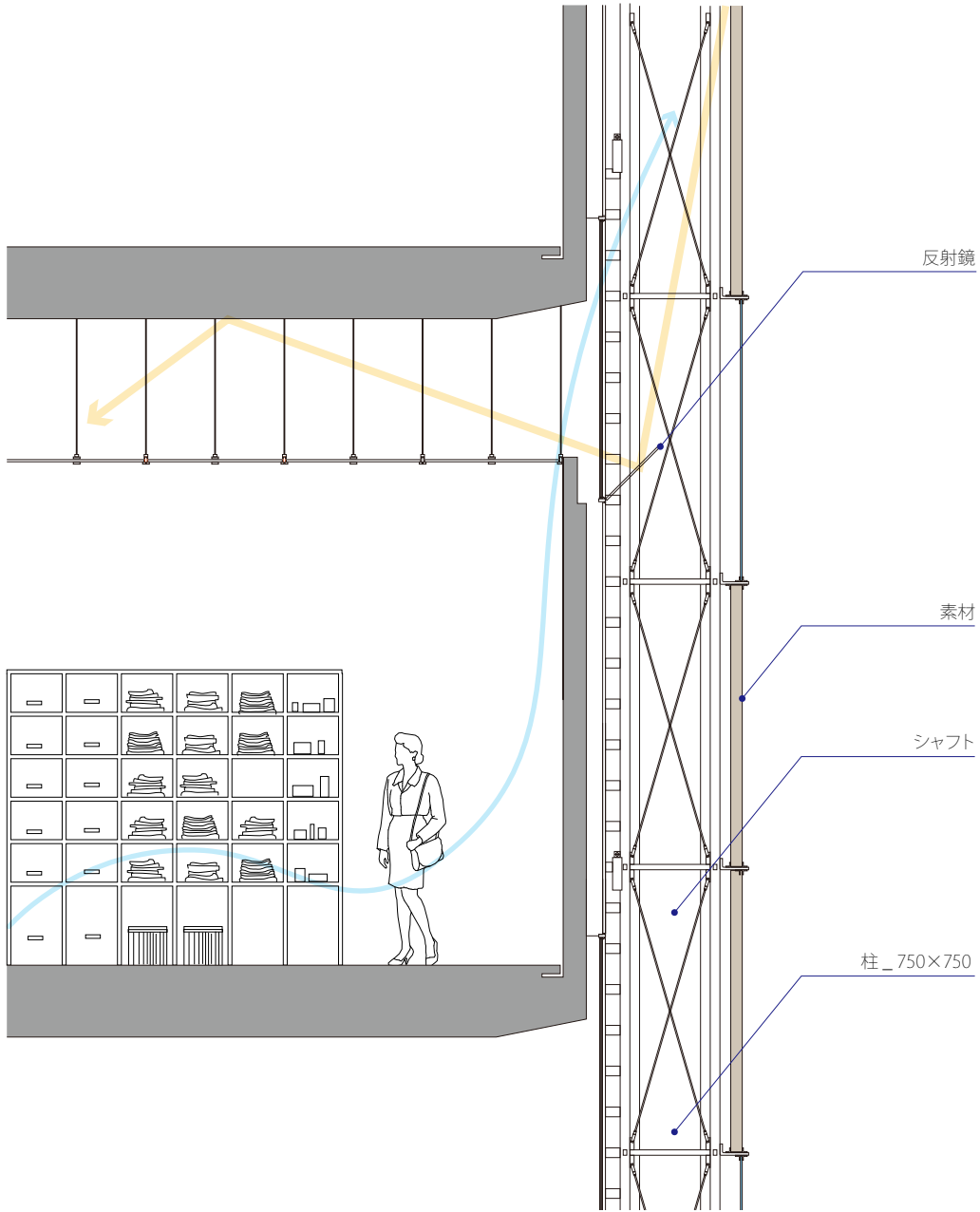
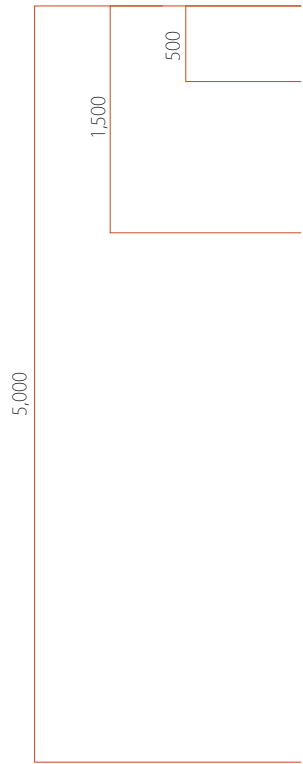
INTERIOR WALL _ 1/500



短手断面図_ SCALE_1/400



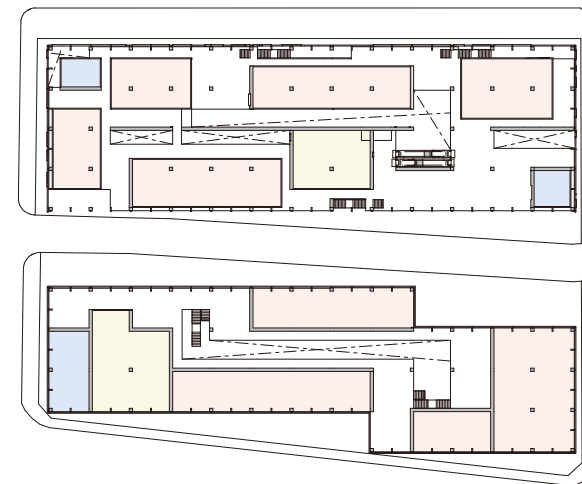
長手断面図_ SCALE_1/400



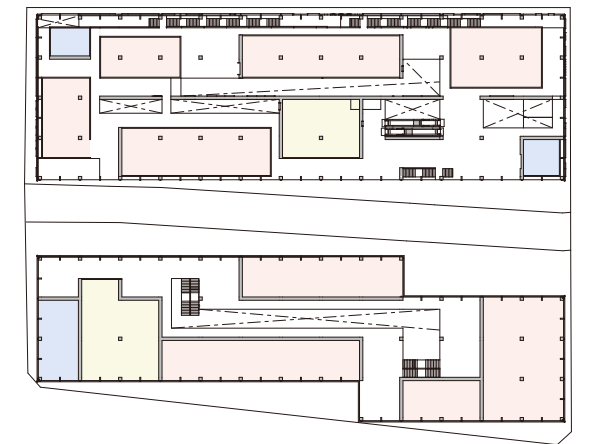
店舗と環境壁 の部分詳細_ SCALE_1/25



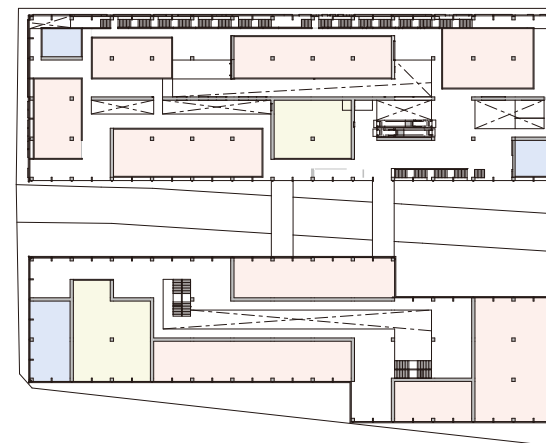
配置図 兼 1F平面図 _SCALE_1/400



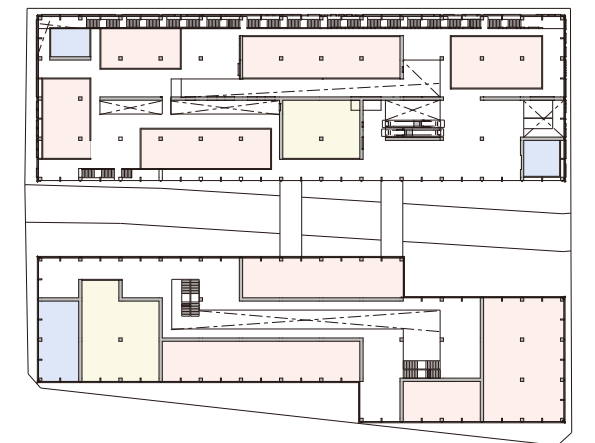
2~3F 1/800



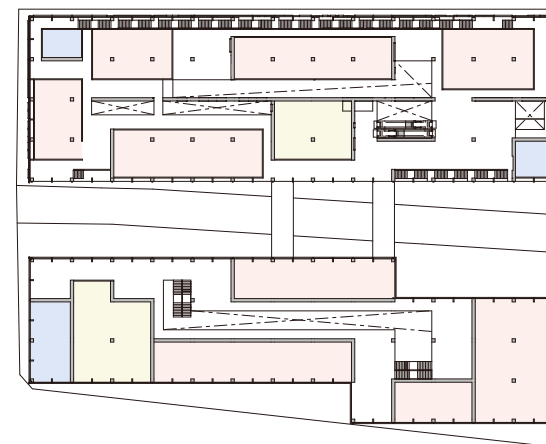
4F 1/800



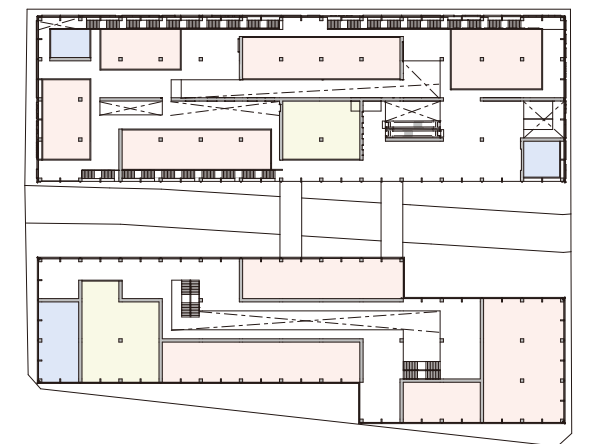
5F 1/800



7~10F 1/800



6F 1/800



11F 1/800